

お知らせNEW

住居表示の表示板調査

住居表示を適切に行うため、調査員が表示板の欠落などを調査し、無料で取り付けます。

調査地区 中央一〜五丁目

調査期間 10月〜12月

問い合わせ

市民健康課市民係

☎ 22-77734

漁業センサスを実施します

漁業の生産構造など、漁業をとりまく実態の調査を、11月1日現在で、全国一斉に実施します。

漁業者や水産関係者が対象となりますので、調査のご協力をお願いします。

問い合わせ

総務課行政係

☎ 22-77719

古庭橋が完成しました

町並み保存地区北の玄関口として本川を渡す古庭橋が9月末に完成しました。

この橋は北側からのアクセス強化と導入部での魅力向上を目的とした事業のひとつで、町並みの景観に配慮した装飾を施し、また古風な照明などにより落ち着いた雰囲気を出しています。

問い合わせ

都市整備課都市計画係

☎ 22-77749



町並み保存計画の見直しを進めています

町並み保存地区の保存方針となる保存計画の見直しを32年ぶりに進めています。50年後、100年後の町並みの未来像を描きながら、どのような取り組みが必要か一緒に考えてみませんか。みなさんのご意見をお聞かせください。

日時

● 1回目

● 2回目

● 3回目

場所 道の駅たけはら 2階

地域交流スペース

問い合わせ

文化生涯学習室

☎ 22-77757

平成 25 年 第 3 回竹原市議会定例会

9月10日〜11日までの2日間、定例議会が開催され、報告1件、議案10件が可決されました。主な議案は次のとおりです。

◆市道路線の認定について

新たに整備する道路2路線（塩浜18号線及び塩浜19号線）を市道に認定するものです。

◆竹原市公共下水道事業受益者負担金及び分担金に関する条例の一部を改正する条例案

受益者が負担する負担金又は分担金に係る延滞金の割合を引き下げるものです。

◆平成 25 年度竹原市一般会計補正予算（第2号）

国・県支出金の精算に伴う返還金や7月上旬の大雨により被災した各施設の復旧経費などを計上したほか、給与の減額及び人事異動等に伴う人件費の過不足を調整した結果、歳入歳出それぞれ3,272万6千円を減額するものです。

税金に関する 休日及び夜間窓口を開設します

申告受付及び市税納税相談のため、休日及び夜間窓口を開設します。収入の申告が済んでいない場合や、何らかの事情で納税が難しい場合は相談を受け付けますので、ご利用ください。

日時 10月20日（日）9時〜17時
10月21日（月）9時〜20時
10月22日（火）9時〜20時

※上記以外の平日の夜間でも、事前に連絡をしていただければ、税金に関する相談を受け付けます。（20時まで。要相談。）

場所 税務課（市役所本庁舎1階）
問い合わせ 税務課 ☎ 22-7732



ハザードマップ（地震・津波）を作成

問い合わせ
 総務課 ☎ 22-7719

東日本大震災の教訓を踏まえ、平成 25 年 3 月に広島県が最大クラスの津波を想定して公表した津波浸水想定を基に、竹原市ハザードマップ（地震・津波）を作成しました。



Q ハザードマップとは？

A 自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図化したものです。予測される災害の発生地点、被害の拡大範囲及び被害程度、さらに避難場所などの情報が図示されています。個人や家族、地域でマップを活用して、災害に備えましょう。

Q どのような地震を想定しているの？

A 広島県沿岸に最大クラスの津波をもたらすと想定される「南海トラフ巨大地震」や、津波到達時間が短いと想定される「安芸灘断層群地震」など、13 のモデルケースを想定し、津波シミュレーションを実施しました。

Q 竹原市にはどの程度の津波の影響があるの？

A 南海トラフ巨大地震による場合、津波の高さは最大で 1.3 メートルと想定されています。竹原市沿岸部の年間最高潮位は約 1.8 メートル (T.P. m) ですので、満潮時に津波が発生した場合には最大で 3.1 メートル (T.P. m※) の水位となります。

また、竹原市に津波の影響が出始める時間(±20センチメートルの潮位変化が生じるまでの時間)は地震発生から 20 分後、最大波が到達するのは地震発生から 347 分後と想定されています。

※ T.P. m とは

東京湾の平均水面を基準とした海拔表示です。T.P. m に約 2 メートルを加えると潮見表などで示されている潮位 (CDL) となります。

▼竹原市の津波の影響

最高津波水位 (T.P. m)	うち津波の高さ	津波影響開始時間	最大波到達時間
3.1	1.3 m	20分	347分

配布場所

竹原市ハザードマップ（地震・津波）は、広報たけはら 10 月号と併せて配布するほか、総務課（市役所 2 階）、支所・出張所でも配布しています。

Q ハザードマップの浸水想定は、どのように想定したの？

A 今回の津波浸水想定は、住民避難を柱とした総合的防災対策を構築する上で必要な「最大クラスの津波」として想定しています。したがって、最大クラスの津波が次に示す悪条件下で発生した場合を前提条件として、浸水の区域や浸水深を想定しています。

浸水区域・浸水深の想定で前提とした「悪条件」

①潮位

津波が発生したときの潮位は、年間最高潮位（大潮の満潮時）であることを前提としています。竹原市沿岸部では、年間最高潮位を約 1.8 メートル (T.P. m) と設定しています。

②堤防等の各種施設

地震の影響により、堤防は地震前の 25% の高さまで沈下すること、護岸や防波堤は構造物が無くなることを前提としています。

